思いを大切にする支援
～それぞれの物語を共に創る～



社会福祉法人昴
グループホームみらい管理者
看護師　吉田隆俊

写真・動画の使用は、全てご家族の許可を頂いています。

個人情報保護のため、撮影はご遠慮ください。

自己紹介

- GH世話人（福祉職）
- 看取りの経験から看護師に
- GHみらい開設から担当
- 重症心身障害児の親



福祉は人の気持ち
を大切にする仕事

どんな命も「おめでとう」

障害があるから不幸ではない

福祉はそれぞれの幸せを応援する仕事

重症心身障害の方とコミュニケーション

すばる

- 気持ちと身体が相互に関係している
- 重度の知的障害があっても、雰囲気や感情を理解
- 説明や声掛けは出来るだけ丁寧に
- ご本人の微妙な意思表示のサインをキャッチ！
- 普段の表情、反応などを知っておく

最初の頃は何もわからず、ご家族から教えてもらいました。
この表情は？これは何のサイン？今日の服装は？

誰のためのグループホーム？

「親の介護負担」「親亡き後」が心配だからGH
ではなく
本人の豊かな暮らしを支えたい

グループホームみらい概要

埼玉県東松山市
2011年４月開設

介護サービス包括型
個人単位のヘルパー利用

定員：７名
医療的ケア：5名
20代後半～30代後半

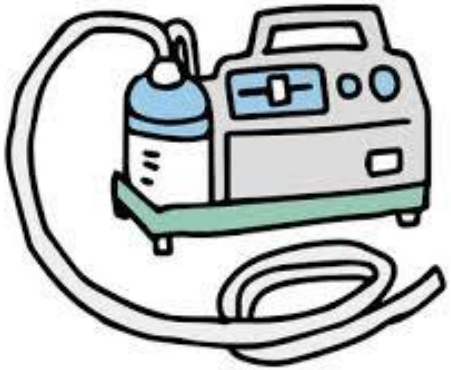
看護体制
朝・夕のスポット

2026年

大丈夫！僕がやります！

なんか寂しい







ケアの先にある思い、ケアを介した関係性

グループホームみらい概要

埼玉県東松山市
2011年４月開設

介護サービス包括型
個人単位のヘルパー利用

定員：７名
医療的ケア：5名
20代後半～30代後半

看護体制
朝・夕のスポット

2026年

オーダーメイドの生活

- **日中の過ごし方：４パターン**
  - 生活介護　3か所
  - 重度訪問介護

- **ヘルパー事業所：8か所**
  - 本人がサービス（事業所）を選択する
  - 風通しの良いホーム
  - １事業所では抱えきれない

- **往診・訪問看護の利用**

自立支援協議会「重心プロジェクト」

すばる

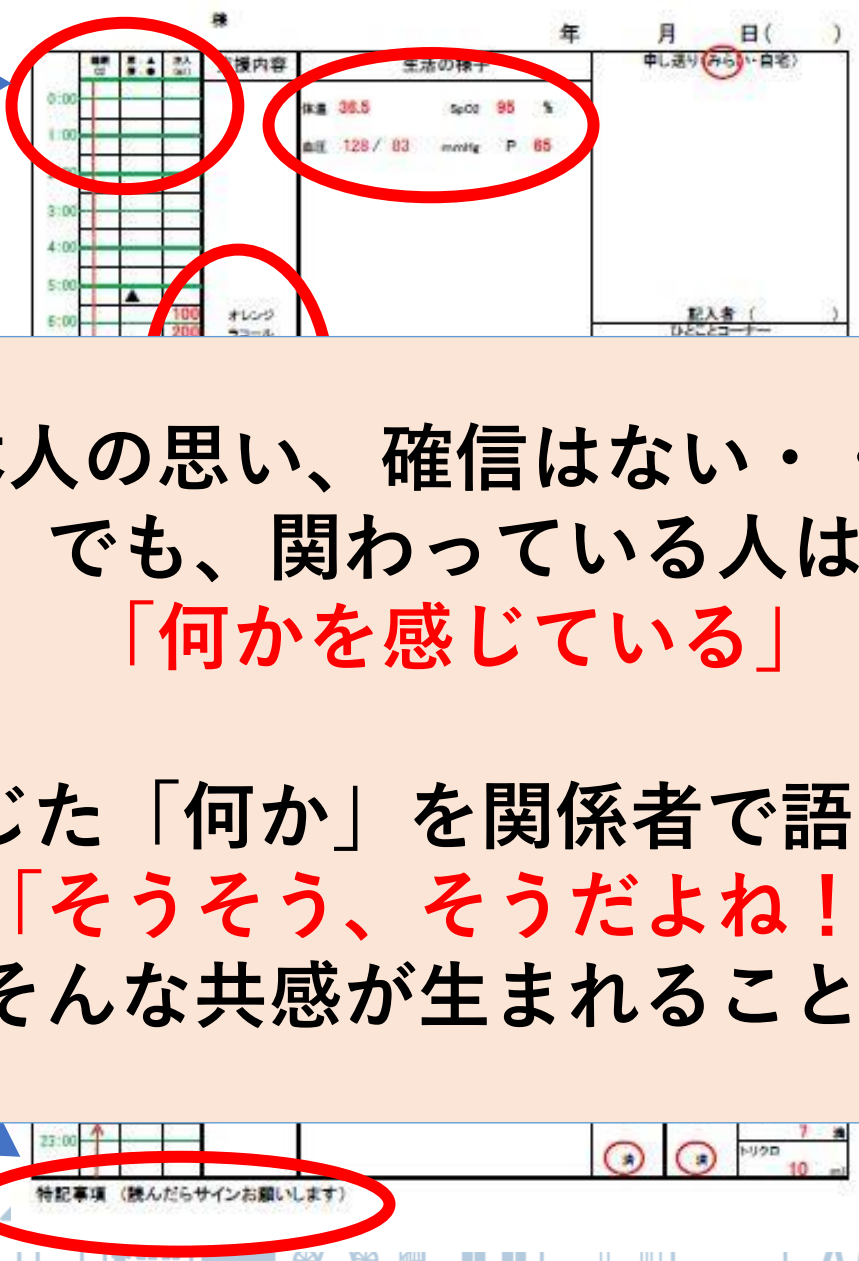
重症心身障害児者の生活を支えるプロジェクト 2009-2017

- 医療的ケアに対応できる通所先・ヘルパーが少ない
- 医療と福祉の連携（言葉・文化・時間の感覚）
- 情報共有（多職種・多事業所）
- 意思決定支援
- 地域住民との関わり
- 交通機関等のバリアフリー

報告書
「ともに創る」

共通ノート

基本的な**健康**に関する情報



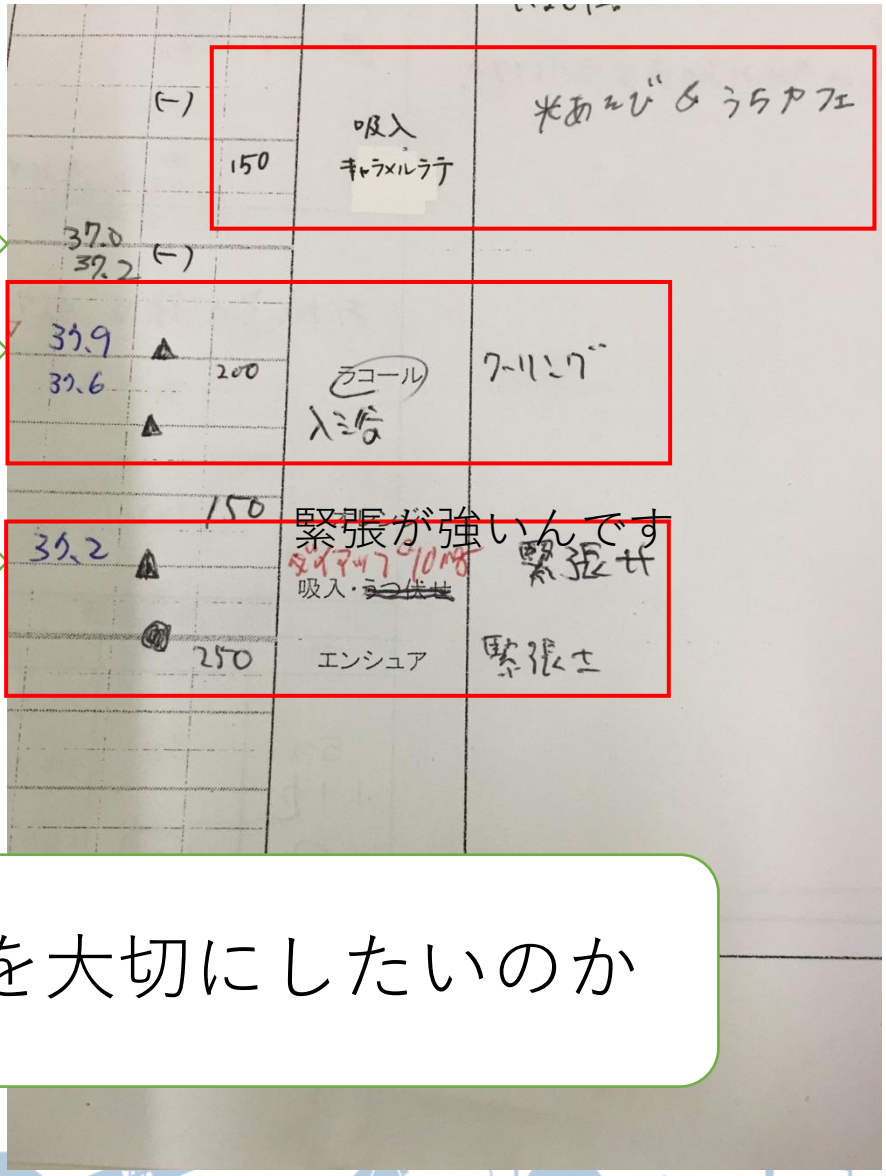
マニュ
役

情報を
り伝達

本人の思い、確信はない・・・
でも、関わっている人は
「何かを感じている」

その感じた「何か」を関係者で語り合うと、
「そうそう、そうだよね！」
そんな共感が生まれることも

緊張が強いんです



何を大切にしたいのか

個別の対応マニュアル

●●様　発熱時の対応

20xx 年 x 月 xx 日作

作成者：ケアホームみらい看護

【検温と状態の把握】

どのような状況で発熱したのか、を記録（報告）します。

「〇〇をしていたら緊張が強くなったので検温。38.0℃」など。

ムセ込みの直後、排便後、入浴後、食後、大笑いの後などは体温が上がりやすいので、少し落ち着いてから再び検温します。

生活のためのリスクマネジメント

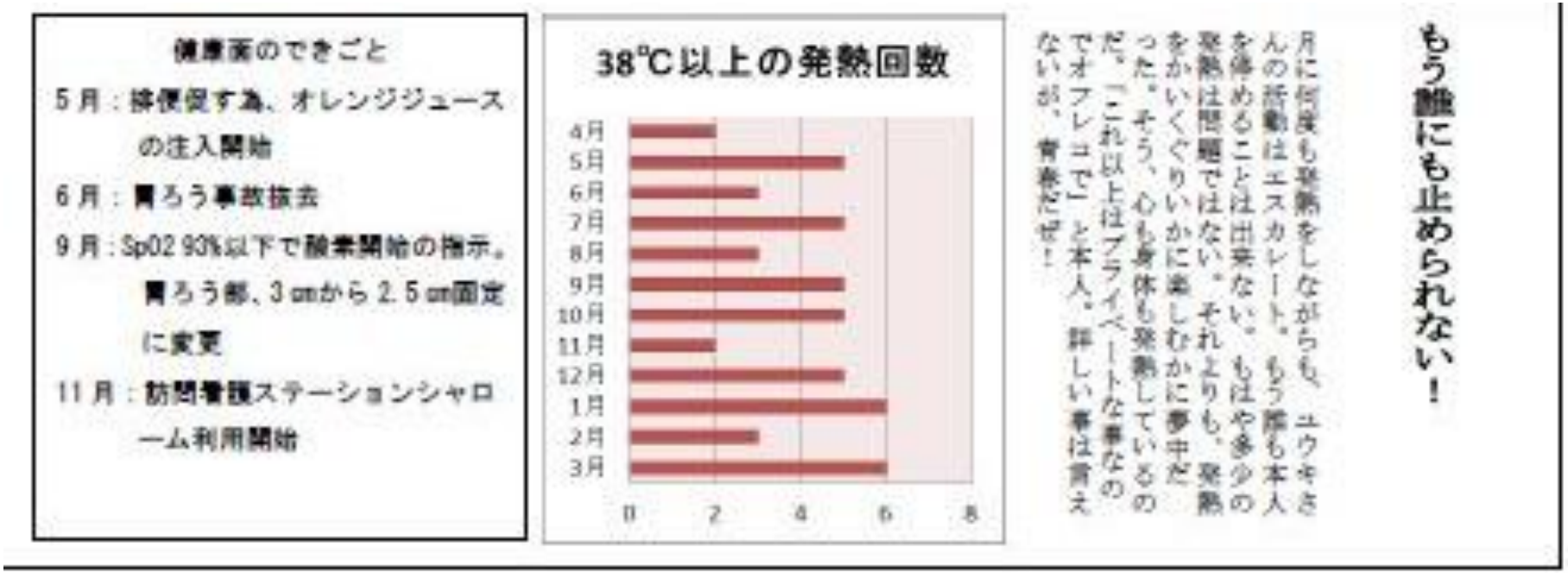
希望する生活にはどんなリスクがあるのか

ご本人ご家族を含めた関係者による「話し合い」と「共通理解」が大事！

次の挑戦は何だろう

- グループホームで暮らして3年
- 体調も落ち着いて、笑顔も増えた
- 対応出来る支援者も増えた
- 今のユウキさんにとって、次の挑戦は何だろう

ディズニーはどう？



今では、ほとんど熱を出さないユウキさん。
ユウキさんの可能性は、
私たちの想像を超えました。

本人の意思は分からない

だけど、この新聞を何年も重ねてみた時に

本人の歴史が見え

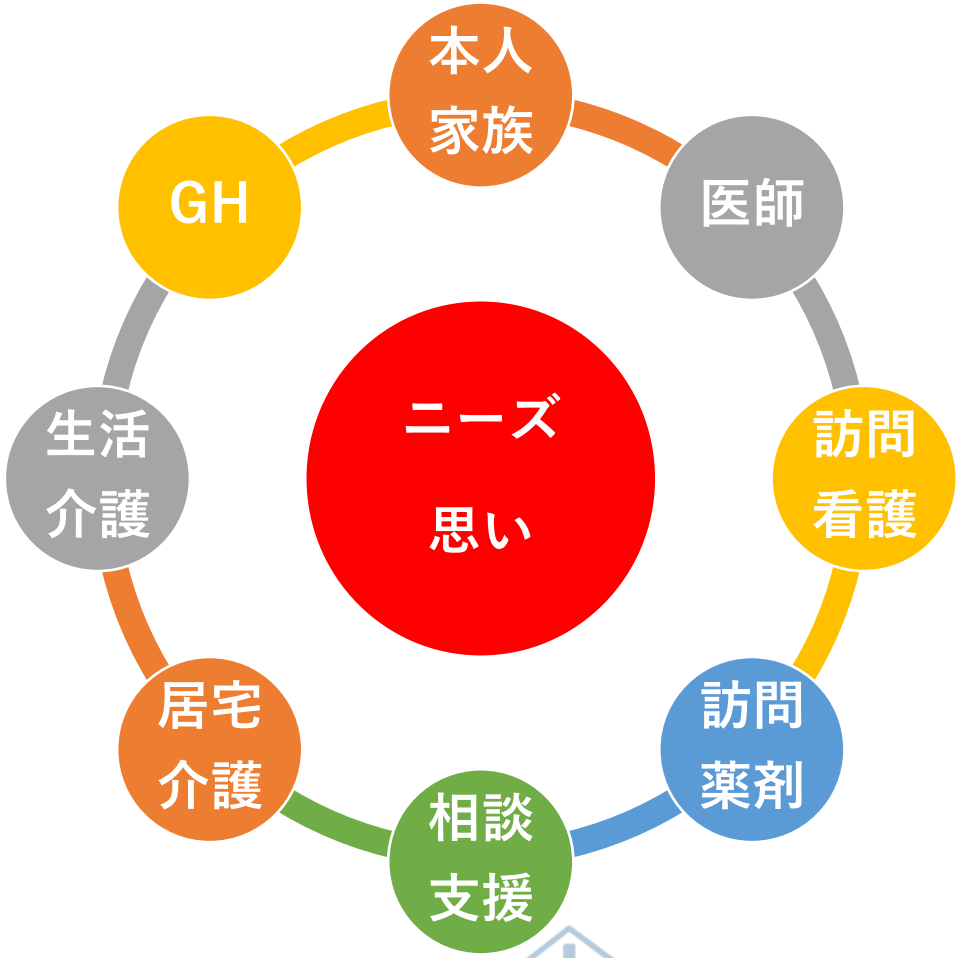
人物像の輪郭が見えてくるのではないか

意思決定支援取組事例集　P24

令和５年度障害者総合福祉推進事業
課題番号18障害者が希望する地域生活を送るための意思決定支援等の取組に関する調査研究
PwCコンサルティング合同会社

支援チームと連携のイメージ



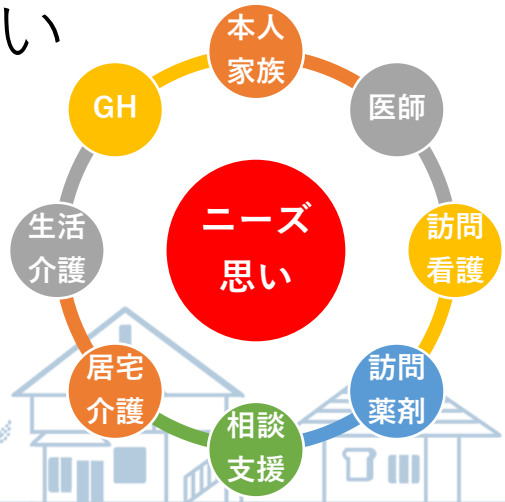


本人の思いを真ん中にする(意思決定)支援

①自分の思い、価値観はいったん横に置く*
⇒福祉職の専門性

②どうやって思いを知るのか？
⇒知識・技術・関係性

③チームでの関わりが不可欠（自分新聞で共有）
⇒誰もが本人の「側面」しか見れない



＊大久保薫・大友愛美（2025）「ライオンを飼いたい
～障害者支援の手前にあるもの～」中央法規出版

意思決定支援？

お泊り体験、グループホーム入居、焼き肉、
ディズニー旅行…etc.

意思「決定」支援？
意思「形成」支援？

自分でもビックリするような自分に出会う体験

本人の物語を本人と支援者が一緒に創ること

Narrative-Based Medicine：本人の語る本人の物語と対話に基づく医療

こんな暮らし望んでも良いんだ

重い障害があったとしても

夢を描いて

望む暮らしを選べる社会に

ご清聴ありがとうございました。